

① 学習指導案

プログラム	No. 2 「これはどこだ？探してみようまちパーツ」
単元名 (全5時間)	これはどこだ？探してみようまちのパーツ
学習のねらい	社会科の学習での町たんけんのきっかけとし、普段何気なく見ているまちの景観を新しい視点で見ることで、まちの景観を構成する要素の多様性に気付き、まちへの愛着を深めるようにする。また、自分たちが見つけた「まちのおもしろさ」を発信したり伝え合ったりすることの楽しさを味わうようにする。
学習内容	<p>1 出会い：普段見ていたまちの景観の中に様々な表情があることを知る。 クイズを通して関心を高める。(素材との出会い)</p> <p>2 深める：地域にあるおもしろいと感じたものの写真を撮り、タブレットPCで問題を作成する。</p> <p>3 気づく：自分が作成した問題を友だちと出し合うことで、まちには色々な表情があることに気づく。</p> <p>4 味わう：じぶんたちのまちには“おもしろい”ものがたくさんあることを知りまちへの愛着をもつ。</p>
参考資料 準備品 実施場所等	<p>準備物 タブレットPC ワークシート 筆記用具</p> <p>実施場所 緑道 学校の周り 教室</p>

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	○学校の中にあるものをズームして撮った写真から、それがどこにあるか、または何かを当てるクイズをする。	○ズームした写真を見て、その写真が学校のどこにあるものか、 ○自分が“おもしろい”と感じたものを写真に撮るようにする。	○まちの景観や学校にあるものについて興味をもって、調べようと考えている 【主体的に学習に取り組む態度】
2～ 3	○公園へ行く道の途中や緑道で見つけたものや、学校の近くにあるものの写真を撮る。	○“おもしろい”と感じたものはズームにして写真に撮り、どうしてそう感じたか自分なりの理由を持つようにする。	○色々な見方があるって良いこと、また友だちの見つけた良さや面白さに共感でき

4	○まち探検で撮影してきた写真をもとに、問題を作成する。	○町の景観を構成している要素をクイズの題材にできるようにする。 ○自分の“おもしろい”と感じた場所や物で問題を作るようにする。	るようにする。 ○町の景観を構成している要素にはどのようなものがあるか考え、クイズ形式で表現している。【思・判・表】
5	○まちで見つけたおもしろいもののクイズ大会を開催する。 ○これまでの活動を振り返り、学習のまとめをする。	○どこに何があるのかだけでなく、その場の風景や景観を構成しているものには様々なものがあることに気付かせるようにする。	

<留意点>

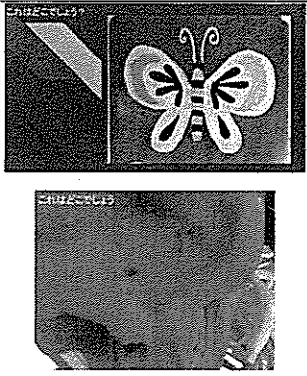
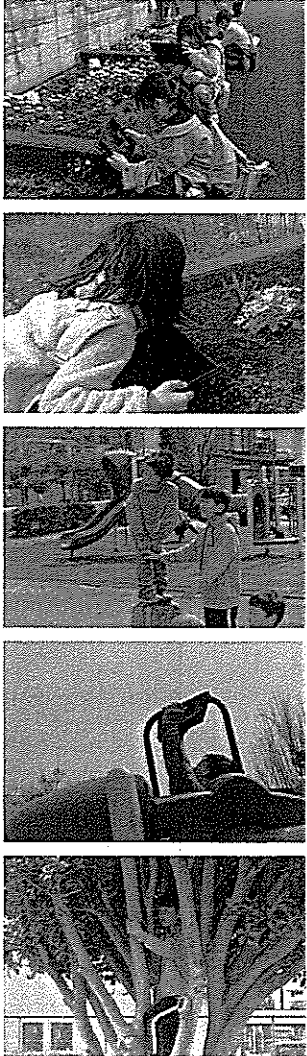
○まちにある“おもしろい”と感じたものについて、それぞれの感じ方は自由であり、どれも尊重されることを事前に指導する。

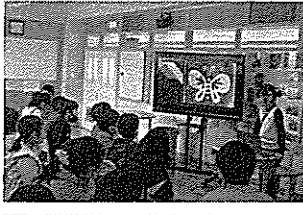
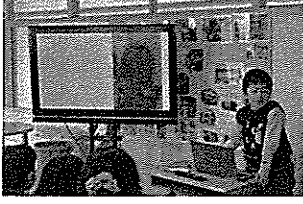


○いつも見ているものについて、見方や視点を変えることで新たな発見があることに気づくようにする。

○まち歩きの時や写真撮影の時の安全指導を事前にしっかりと行う。

② 事業実施報告書詳細

学校名 谷口台小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内 教室 	<p>○学校の中にあるものをズームして撮った写真から、それがどこにあるか、または何かを当てるクイズをする。</p>		<p>自分たちの教室表示の絵だったけど気付かなかった。いつも見ているはずなのに、意識していないと分からない。</p>
2~3	<ul style="list-style-type: none"> 緑道 あかつき公園 	<p>○公園へ行く道の途中や緑道で見つけたものや、学校の近くにあるものの写真を撮る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・葉っぱをズームして見てみたら、ふわふわした白い毛がいっぱい生えていたよ。 ・「いつもは見ないところを見てみよう」という気持ちで木に登って見てみたよ。 ・見つけたものを友達に教えたら、「おもしろい」って言ってくれて嬉しかったよ。 <p>「</p>

<p>4</p> <p>5</p>	<p>教室</p>	<p>○まち探検で撮影してきた写真をもとに、問題を作成する。</p> <p>○まちで見つけたおもしろいもののクイズ大会を開催する。</p> <p>○学習の最後に振り返りをする。</p>	   	<p>・他の人のクイズを見て、「えっ…こんな身近なところなのに」と、自分が分からない所を写真に撮るのがすごいと思いました。</p> <p>・みんながじっくり見たところがない場所やものを探すのが少し難しかったです。</p> <p>・普段通っている石のベンチがあるマンションが、ズームして見たらとても大きく見えて「え？」となりました。</p> <p>「丸太や置物の象等をみんな分かりやすいクイズにしている、いつもの所なのに、小さくなった気分になりました。</p> <p>・あかつき公園や緑道などのたまに行く場所に、こんな秘密があるって分かって面白かった。</p>
-------------------	-----------	--	--	---

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・例題を作って子どもたちに「まちにあるもの」をどのように見るのかを伝えた。・全体を大きく捉えて見ようとするのではなく、ある箇所をズームして切り取る見方をするようにした。・問題について始めは難しいヒントとし、段々易くなる3ヒントクイズにした。・「おもしろい」という捉え方は一人一人違って当たり前で、どんな見方や感じ方でも「その人らしさ」が表されてよいということを理解するようにした。・町歩きや公園で「おもしろい」ものを見つけるときには、時間を十分に確保すると共に、サポートする大人を増やすことで子どもたちが安心して探することができる体制を整えた。・欠席した子は学校の中で「おもしろい」ものを探してクイズを作ることとし、だれもが参加できるようにした。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>学年全体で動くとなると様々な授業との兼ね合いや人員の確保などが難しくなった。特に校外に出るため、雨が降るとその調整ができなかった。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>自分がいつも通っている場所や遊んでいる所でも、見方を変えてみることで新鮮な捉え方ができていた。「自分が小さくなった感じがした」「こんな秘密があるって面白い」「身の回りには不思議なものがいっぱい」と子どもたちがそれぞれの言葉で感じたことを表現していた。</p> <p>また、クイズにして表現するという学習は、子どもたちが多様な見方や感じ方に触れることができ、自分の学習に生かしていきたいという前向きな感情をもつことに繋がった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>自分たちの身の回り（学校や地域）には「おもしろい」ものがたくさんある事に改めて気づくことができた。また、「他には何かないだろうか？」と興味関心をもって学校の中や地域を見るようになった。自分が感じた「おもしろい」と思うものを、子どもたちにも伝えたいと思い、子どもたちと休み時間にクイズを出し合ったりするようになった。</p> <p>子どもたちとも学校や地域にあるものに対して、価値付けることができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）</p> <p>単年の取組みで終わってしまわないように、様々な学年のカリキュラムの中で関連付けることができる単元を見つけ、位置付けていきたい。また、学年に応じた見方や感じ方があると考えられることから、作ったクイズを異学年の児童に出したり、発表したりすることで「自分もやってみよう」という気持ちを喚起できると考えられる。</p>